

レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

今回の研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科及び共通のリスクを有する循環器病（急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など）治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的とします。

【対象】

2016 年 4 月～2025 年 3 月の間に、J-ASPECT 研究に通院・入院された方

【調査項目】

生年月日、性別、発症年月日、入院年月日、退院年月日、退院先

自宅郵便番号、診療報酬算定情報（DPC）

入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介

入院前および入院後生活自立度(modified Rankin Scale score, mRS)、入院中死亡の有無、脳卒中・循環器病による再入院

初期重症度（JCS、GCS、NIHSS、Hunt & Hess grade、ICH grade、Hunt & Kosnik grade）

検査データ（腎機能、LDL-Chol、PT-INR）

搬送から画像撮影までの時間

搬送から組織プラスミノゲン活性化因子（rtPA、血栓溶解療法）投与までの時間

搬送から血管内治療のための穿刺までの時間

血栓回収を行った場合の再開通度（TICI grade）

rt-PA 静注療法または血管内再開通療法を施行した患者での 36 時間以内の症候性頭蓋内出血（NIHSS 4 点以上悪化）の有無

退院 90 日後 modified Rankin Scale(mRS)

画像診断、検査の有無〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査、撮影・検査未実施〕

リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科・循環器病関連の診療にかかわる治療内容

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

承認日から 2026 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究代表者】

飯原弘二 国立循環器病研究センター 病院長

〒564-8565

大阪府吹田市岸部新町6番1号

国立循環器病研究センター

TEL : 06-6170-1070

FAX : 06-6170-1897

E-mail : knishimu@ncvc.go.jp

【研究事務局】

国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部 部長 西村邦宏

〒564-8565

大阪府吹田市岸部新町6番1号

国立循環器病研究センター

TEL : 06-6170-1070（内線 60019）

FAX : 06-6170-1897

E-mail : knishimu@ncvc.go.jp

【当院の研究責任者】

豊田 真吾

関西労災病院 脳神経外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail : stshto@aol.com